

Ⅱ-2 これからの医療・ケアに対する希望について尋ねましょう(P8-9)

本人の病状から予測される、今後の医療やケアの選択肢を医師に確認しながら、それぞれの選択肢に対する本人の希望を確認しましょう。

例えば、病状が進んだ場合の療養場所の希望について、移動に介護が必要になった場合や、食事に介護が必要になった場合など、介護状態に合わせて具体的なイメージができるようにお伝えし、希望を確認するとよいでしょう。

適宜、本人がイメージできるような言葉(人生会議手帳2:P8～9 参照)を添えて確認しましょう。

1. 「してほしい治療やケア」「してほしくない治療やケア」について尋ねる

- ・本人の望む医療やケアを介護状態に合わせて、具体的に聞きましょう。
- ・「これができなくなったら、自分らしく生きていられない、と感じるのはどんなことでしょうか」などと尋ねるとよいでしょう。
- ・「これだけはしてほしくない、望まないことはどんなことでしょうか」という問いかけの方が、意向を表現しやすい場合もあります。本人に合わせた表現方法を工夫しながら、本人の希望を具体的に確認しましょう。

2. 「選択の理由」をしっかりと聞きましょう。

- ・この項目で最も大切なことは、「選択の理由」です。「選択の理由」には、本人の価値観が潜んでいるからです。
- ・価値観を表現することは多くの日本人にとって不慣れなことです。「選択の理由」を丁寧に尋ねることで、本人も自身の価値観に気づくきっかけになるでしょう。
- ・例えば、「家に帰りたい」と選択しても、人によって理由が違います。家族等の声をいつも聞いていた、自分の作った家で過ごしたい、犬が心配など…、理由によって、本人の大切にしたいこと(価値観)が見えてきます。
- ・本人の価値観を十分に聞いておくと、もしも、の望みが叶わない状況でも、本人の価値観に合わせた代替の方法を提案することも可能になります。

・選択に対する本人の思いを、自由に表現してもらい、『本人の命の物語』を聞かせていただき、共有するプロセスが大切です。本人の思いを中心として、家族等、医療者間のコミュニケーションを促進していきましょう。

※『命の物語』とは：本人の人生の歴史、生き方、経験、価値観や嗜好、家族や大切な人との絆など、どのようなことを大切に生きてきたかという本人の人生の物語

自由記載欄の意図 (P10-11)

- ・人生会議手帳1・2は、疾患の種類に関わらず、すべての方々に共通する内容で構成しています。
- ・疾患別や、組織ごとに確認したい内容などがある場合には、このページを活用ください。
- ・個別で作成したシートを張り付けても構いません。用紙を挟み込んで、ファイル化しても構いません。
- ・自由な発想で活用してください。
- ・良いアイデアがありましたら、次回の改定時の参考にしますので、手帳巻末のアンケートに記入ください。